



やまゆり

学校だより

令和6年2月27日
88号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」 一気づき・考え・実行するー
校内研究重点 「個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する生徒を育成する」

学校教育目標 「**小中連携**」

1・2年生が小学6年生と音楽の授業をしました

2月22日(木)に、本校1・2年生と小学6年生が合同で、音楽の授業で校歌の合唱について学習しました。指導者は高村先生で、入学式でも校歌が歌えたり、入学後の安心した学校生活の基盤づくりのために合同で授業をしました。

また、6年生には本校で活用している「学習キャリアパスポート」を使用し、単元目標を適えるため「個別最適」で「協働的」な学習を体験してもらいました。

4月以降の本校の全校生徒が、協働して自分たちの校歌を創り上げるために、知恵を出し合い、協働して感動的な校歌を創り上げることが出来ました。

2月からこのような体験学習を、実践できている学校は県内でも少数と思います。小中一体型校舎や小中連携を生かした、9年間の学習の連続した学びによって一人一人にきめ細やかな学習を今後も展開したいと思います。

指導者の高村先生

キャリアパスポートを使って、単元目標や計画を考える様子



小学生に対する中学生の配慮も、日常生活で培った力 家庭教育+学校教育



次年度の全校合唱につながる音楽の学習指導 小学生もきっと安心できたと思います



各パートに分かれて協力して練習する小中学生の様子



距離の近さは、心の近さの証拠です



最後に全員で自分たちで創り出した校歌の合唱



学校教育重点目標 「居心地良く、やる気のある学校づくり」

誰とでも関われる関係の中で、楽しい思い出を創る全校活動

2月22日(木)に、「誰とでも親和的に関わり、楽しい思い出を創り出す」目的で、全校ドッジボールを行いました。入試や卒業を前に、「楽しかった」と思える活動を自分たちで創るための会を行う事はとても重要な活動と考えています。若鮎祭もドッジボール大会も、教職員の指示と命令では、生徒の主体性は向上しません。一人一人の目的意識と、協働性が人間力を高めています。

下級生の活躍は、上級生の配慮と関係の成果

入試前の怪我を防止するために準備体操



同調と付度ではなく、勝負がかかれば真剣に活動できるのが本物の力 素晴らしい！



異学年で団結できる力

喜びを体で表現する1年生

一生懸命参加する態度



異学年での仲の良さや、主体性は簡単には築けません。3年間の集大成としての成果です



終わりの会も生徒主体で整然と行えます

紫龍さん、絢花の3年生としての活躍



学校教育重点目標 「**確かな学力の育成**」
「入試」における心構えと対策

3月5日は、3年生の入試です。今まで努力してきた力を全て発揮するために、以下の事をもう一度確認して下さい。

- 1 体調が一番重要。各種インフルエンザ対策、怪我防止など出来ることを徹底しよう！
- 2 当日、熱が出てても再受験が可能。心配しないように。
- 3 当日、会場までの交通手段に最善の注意をしましょう！

車の故障や事故は再受験の対象になりません。ご家族の方々の入念な準備もお願いします。

- 4 受検票等は忘れても、遠くから家に戻らないようにして下さい。受験できます。
- 5 「時計」は必ず持ちましょう。時間が分からないと不安が増大します。
- 6 体調が悪かったり、トイレに行きたくなったら、迷わず試験官に伝えましょう。
- 7 新しいこと、難しい勉強をするのは基本的にやめましょう！ 勉強したことの復習を徹底！
- 8 必ず「名前を書きましょう」 名前を書き忘れると、不安が増大します。
- 9 他の受験生を見るのはやめましょう！ 相手は他の受験生ではありません。取りたい点が取れば確実に合格します。
- 10 悩みや不安があれば必ず誰かに相談しましょう。出来れば学校の先生に相談して下さい。

テストの解答に関して

- 1 100点取ろうと思って試験を受けてはいけません。合格するために各教科で必要な点数を紙に書いて下さい。例えば250点欲しいのなら、各教科約50点です。50点は間違えても合格は十分に可能です。県内に500点取れる受験生はいません。解けない問題が入っていると考えましょう。「**解ける易しい問題を、ミス無く確実に解く**」ことが合格に直結します。

※ 惜しかった！は0点です。 **1問4点くらいの配点。2問で8点×5科目で40点減点です**

- 2 氏名を書いたら、問題用紙全体を見渡し、**①易しい問題から確実に解きます。②次は、時間をかければ何とかなる問題に取り組みます。③分からない問題には時間をかけないようにしましょう。**しかし、記号の選択問題なら記号は記入しましょう。
- 3 **問いの問題文は「最低2回読み」、「何を聞かれているのかを把握」**しましょう。そして、答え方の**「条件に線を引く、条件を確実に守る」**ようにしましょう。
- 4 全教科対策 **時間が足りない！**→だからこそ、**易しい問題を確実にミス無く解くのです**

- ① 問題量が多く、高速で解くことが必要です。時間を計測して答える練習も必要。
- ② 複合問題が多く、単純に答えを出せる問題が少ない傾向です。

- 5 国語 漢字は丁寧で確実に。古典は基本問題徹底。説明文は論理の展開、物語は心情
社会 毎年、地理・歴史・公民と3分野総合から出題。時事問題、記述式10問程度、基礎
数学 6つの大問合計約30問の出題。ミスない正確な計算。方程式・作図・関数等は毎年
理科 毎年、物理・科学・生物・地学の4分野から2問ずつ出題が傾向。得意な分野から。
英語 速く正確に。リスニング3問程度。(10分)残り35分→会話長文。長文・英作文等。